

2012年3月期第3四半期 決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

NOMURA

野村ホールディングス株式会社

2012年2月

© Nomura

本資料は、米国会計基準による2012年3月期第3四半期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は、2012年2月1日現在のデータに基づき作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

プレゼンテーションの概要

- 2012年3月期第3四半期決算のポイント(P3)
- エグゼクティブ・サマリー(P4)
- 2012年3月期第3四半期決算の概要(P5)
- セグメント情報(P6)
- 営業部門(P7-8)
- アセット・マネジメント部門(P9-10)
- ホールセール部門(P11-15)
- 金融費用以外の費用(P16)
- コスト削減の進捗(P17)
- 強固な財務基盤を維持(P18)
- 自己資本(Tier 1)、リスク調整後資産の変動(P19)
- 資金調達と流動性(P20)
- 欧州周辺国へのエクスポージャー(P21)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P23)
- バリュースコア・リスク(P24)
- 連結決算概要(P25)
- 連結損益(P26)
- 連結決算: 主な収益の内訳(P27)
- 連結決算数値とセグメント数値間の調整: 税前利益(損失)(P28)
- セグメント「その他」(P29)
- 営業部門関連データ(P30-34)
- アセット・マネジメント部門関連データ(P35-36)
- ホールセール部門関連データ(P37-38)
- 人員数(P39)

- ✓ 前四半期比で増収・増益 ～ 全ビジネス部門が税前黒字を計上
 - 営業部門、アセット・マネジメント部門は、厳しい環境下でも健闘
 - ホールセール部門は、全地域・全ビジネスで大幅増収

- ✓ 収益環境の変化への対応
 - 総額12億ドルのコスト削減、損益分岐点の引き下げを推進中
 - 厳格なリスク・マネジメントを継続

- ✓ 強固な財務基盤
 - 流動性の高い、健全なバランスシート
 - 将来の規制を見据えた資本政策
 - 潤沢な手元流動性を保持

決算ハイライト

- 第3四半期の収益: 4,049億円(前四半期比: 34%増、前年同期比: 37%増)、税前利益: 345億円、当期純利益¹: 178億円
- 営業部門
 - 収益: 797億円(前四半期比: 5%減)、税前利益: 101億円(前四半期比: 6%減)
 - 投資家のリスク許容度が低下する中、コンサルティング営業を推進し、若干の減収に留めた
- アセット・マネジメント部門
 - 収益: 153億円(前四半期比: 4%減)、税前利益: 42億円(前四半期比: 10%減)
 - 運用資産残高は減少するも、コストを抑制し、安定した利益を確保
- ホールセール部門
 - 収益: 1,762億円(前四半期比: 2.2倍)、税前利益: 378億円
 - 全地域および全ビジネスラインで、前四半期比、大幅増収
 - グローバル・マーケット: トレーディング収益が改善、フィクスト・インカムが牽引
 - インベストメント・バンキング: 伝統的ビジネスおよびソリューション・ビジネスの貢献により、グロス収益²は国内外で大幅に拡大
- 第1-3四半期(累計)の収益: 1兆369億円(前年同期比: 25%増)、税前利益: 242億円(前年同期比: 57%減)、当期純損失¹: 105億円
 - 日本における税制改正の影響により、当期純利益¹が133億円減少

(1) 野村ホールディングス株主に帰属する当期純利益(損失)

(2) 「その他」を除くインベストメント・バンキングのグロス収益

2012年3月期決算の概要(第3四半期、第1-3四半期累計)

決算ハイライト

	2012年3月期 第3四半期	前四半期比 (%)	前年 同期比 (%)	2012年3月期 第1-3四半期累計	前年 同期比 (%)
収益合計 (金融費用控除後)	4,049億円	+34%	+37%	10,369億円	+25%
金融費用以外の費用	3,705億円	+7%	+38%	10,127億円	+31%
税前利益(損失)	345億円	-	+24%	242億円	△57%
当期純利益(損失) ¹	178億円	-	+33%	△105億円	-
ROE ²	3.5%				

(1) 野村ホールディングス株主に帰属する当期純利益(損失)

(2) 各期間の当期純利益を年率換算して算出

セグメント情報(第3四半期、第1-3四半期累計)

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

		2012年3月期 第3四半期	前四半期比	前年同期比	2012年3月期 第1-3四半期累計	前年同期比
収益	営業部門	797億円	△5%	△18%	2,579億円	△13%
	アセット・マネジメント部門	153億円	△4%	△11%	501億円	+2%
	ホールセール部門	1,762億円	2.2x	+2%	3,967億円	△11%
	3セグメント合計	2,712億円	+51%	△5%	7,047億円	△11%
	その他 ¹	1,362億円	+9%	18.9x	3,383億円	6.1X
	営業目的で保有する投資 持分証券の評価損益	△25億円	-	-	△61億円	-
収益合計(金融費用控除後)		4,049億円	+34%	+37%	10,369億円	+25%
税前利益(損失)	営業部門	101億円	△6%	△56%	428億円	△49%
	アセット・マネジメント部門	42億円	△10%	△24%	164億円	+19%
	ホールセール部門	378億円	-	3.5x	△501億円	-
	3セグメント合計	522億円	-	+33%	91億円	△88%
	その他 ¹	△152億円	-	-	212億円	-
	営業目的で保有する投資 持分証券の評価損益	△25億円	-	-	△61億円	-
税前利益(損失)合計		345億円	-	+24%	242億円	△57%

(1) 野村土地建物の子会社化に伴う新連結会社を含む。第3四半期のその他には、自社およびカウンターパーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する利益162億円が含まれる

(2) 2011年4月より、アセット・マネジメント部門のノムラバンク・ルクセンブルグS.A.をその他のビジネスに統合したことに伴い、アセット・マネジメント部門とその他の損益を過去に遡り組み替えております。

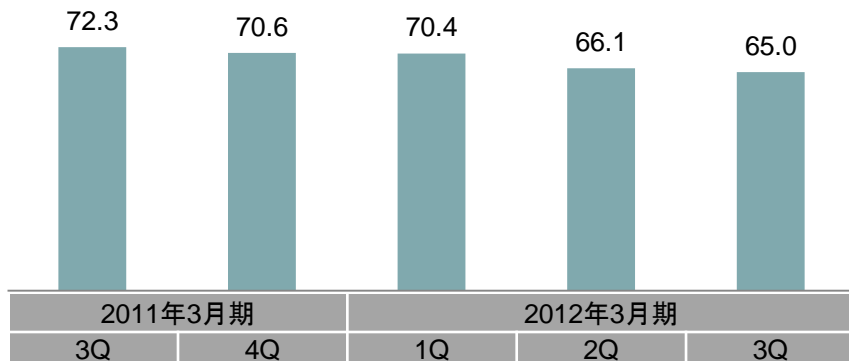
収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	2011年3月期		2012年3月期			前四 半期比	前年 同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
収益合計 (金融費用控除後)	97.5	96.2	94.2	84.0	79.7	-5%	-18%
金融費用以外の費用	74.5	78.6	72.2	73.3	69.6	-5%	-7%
税前利益	23.0	17.7	22.0	10.7	10.1	-6%	-56%

顧客資産残高

重要業績評価指標(KPI)
(兆円)

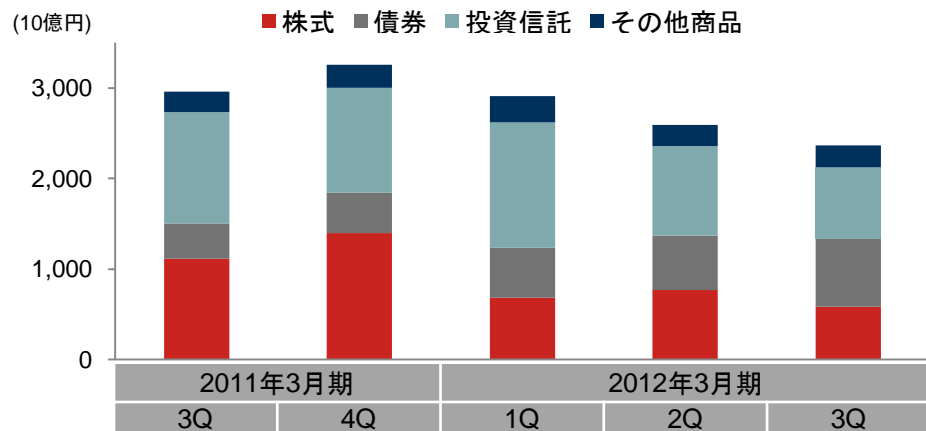


決算のポイント

- 収益: 797億円 (前四半期比5%減、前年同期比18%減)
- 税前利益: 101億円 (前四半期比6%減、前年同期比56%減)
- 厳しい市場環境にもかかわらず、若干の減収に留めた
 - 投資家のリスク許容度が低下する中、コンサルティング営業を推進
 - 適切にコストを管理し、前四半期比で若干の減益
- コンサルティング営業を継続し、7四半期連続で顧客資産純増
 - 内外債の販売拡大
 - 新規口座開設数 5万口座
 - 対面(店舗)・非対面(ネット&コール)の連携強化、お客様との接点拡大
- 顧客基盤
 - 顧客資産残高 65.0兆円
 - 残あり顧客口座数 497万口座
 - 顧客資産純増 2,603億円
- 主な投信販売額
 - 野村米国ハイ・イールド債券投信 1,293億円
 - UBS世界公共インフラ債券投信 1,178億円
 - 野村グローバル高配当株プレミアム 1,078億円
 - 野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 914億円
- その他の販売状況(第3四半期計)
 - IPO、PO 480億円
 - 債券販売額 7,574億円
 - うち外債販売額 4,522億円

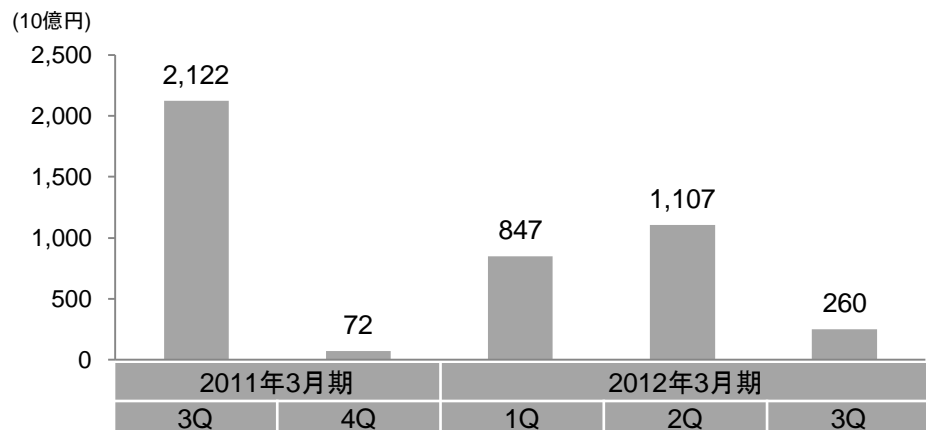
営業部門: 総募集買付額は減少するものの、顧客基盤は拡大

総募集買付額

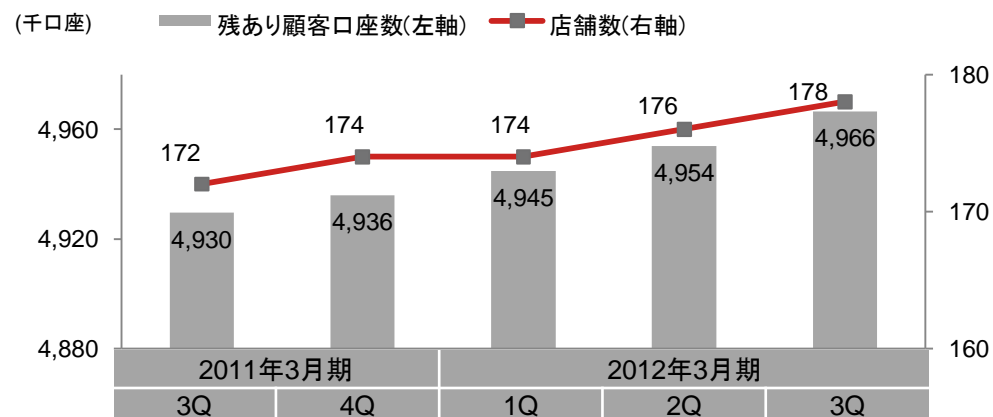


- 総募集買付額: 前四半期比9%減
- 投信: 前四半期比で減少したものの、市場対比では健闘
 - 商品ラインアップの拡充、アセットクラスや通貨の分散、投資手法の多様化
 - 顧客ニーズに即した投信営業を推進
- 債券: 多様な投資ニーズを捉えて、4四半期連続で増加
 - 外債販売が好調(豪ドル、トルコリラ、ブラジルレアル、南アランドなど分散)
 - 国債、事業債等の販売
- 株式: 募集買付は減少
 - 東証売買代金が前四半期比21%減少～セカンダリー買付にも影響
 - プライマリー募集額は前四半期比約3倍

7四半期連続で顧客資産純増¹



顧客基盤の拡大



(1) 顧客資産純増=資産流入額-資産流出額

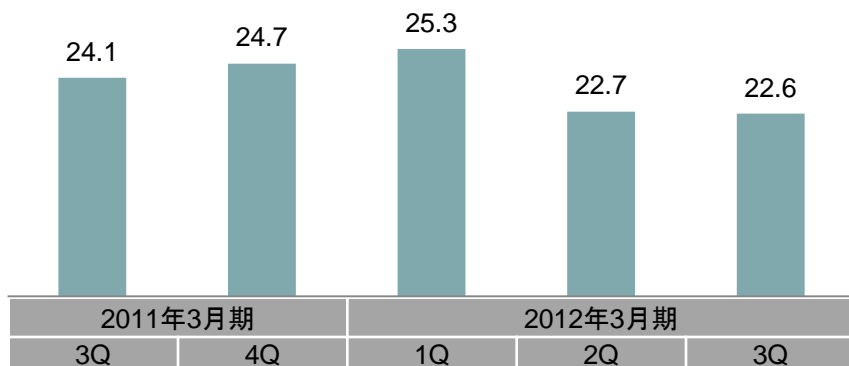
収益合計(金融費用控除後)、税前利益¹

(10億円)

	2011年3月期		2012年3月期			前四半期比	前年同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
収益合計 (金融費用控除後)	17.3	17.3	18.8	16.0	15.3	-4%	-11%
金融費用以外の費用	11.7	11.0	11.4	11.2	11.1	-2%	-6%
税前利益	5.6	6.3	7.4	4.7	4.2	-10%	-24%

運用資産残高

重要業績評価指標(KPI)
(兆円)



決算のポイント

- 収益: 153億円 (前四半期比4%減、前年同期比11%減)
- 税前利益: 42億円 (前四半期比10%減、前年同期比24%減)
- 第3四半期末の運用資産残高: 前四半期末比、微減
- コストを抑制し、安定した利益を確保
- 公募株式投信(除:ETF): 投資家の買い控えもある中、投資家ニーズに合った商品を提供し資金を取り込む

<主な新規設定投信の当初設定額と12月末残高>

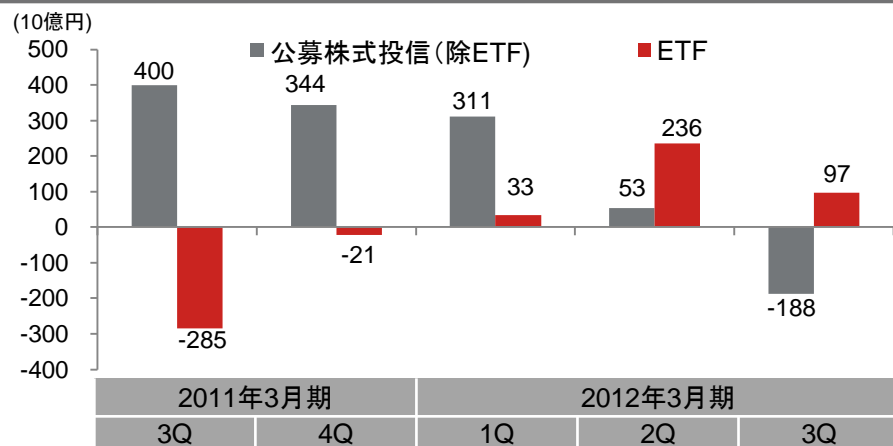
- 野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型) 11/18設定: 546億円→1,056億円
- 野村SNS関連株投資 10/28設定: 135億円→191億円
- ノムラ・アジア・コレクション 12/16設定: 142億円→165億円

- ETF: 968億円の資金流入(12月末残高シェア 52.3%)²
- 海外投資顧問ビジネス: 海外年金から日本株の各種投資戦略やアジア株などのプロダクトに資金が流入

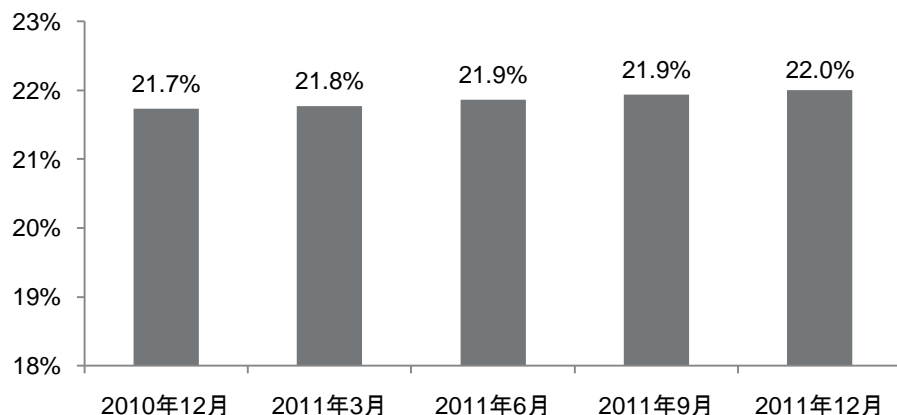
(1) 2011年4月より、アセット・マネジメント部門のノムラ・バンク・ルクセンブルグS.A.をその他のビジネスに統合したことに伴い、アセット・マネジメント部門とその他の損益を過去に選り組み替えております。
(2) 投資信託協会資料から作成。野村アセットマネジメント単体

アセット・マネジメント部門: 投信は高シェア、投資顧問は高水準の契約資産を維持 **NOMURA**

公募株式投信資金流出入^{1,2}

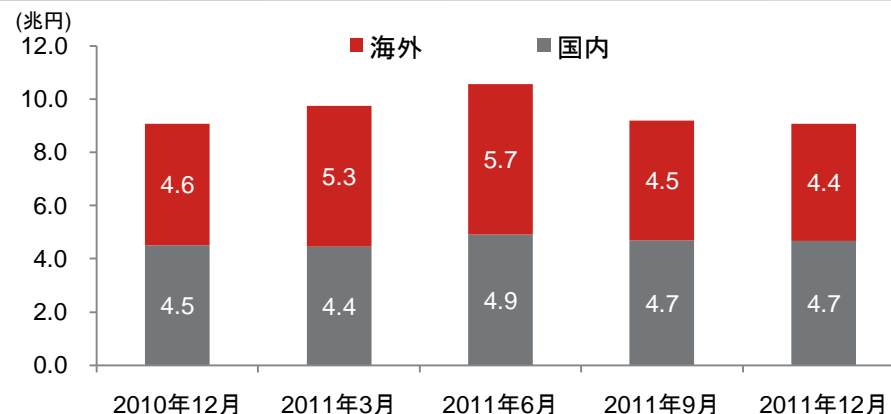


公募株式投信シェア^{1,2}



(1) 野村アセットマネジメント単体
 (2) 投資信託協会資料から作成
 (3) 日本証券投資顧問業協会への報告基準ベース

投資顧問契約資産残高^{1,3}



今期受賞アワード

- モーニングスターより、4ファンドが「Fund of the Year 2011」を受賞
 <最優秀ファンド賞>
 - バランス型部門 「野村世界6資産分散投信(安定コース)」
- <優秀ファンド賞>
 - 国内株式型部門 「ストラテジック・バリュー・オープン」
 - バランス型部門 「世界三資産バランスファンド(毎月分配型)」
 - 高利回り債券型部門 「野村新興国債券投信Aコース(毎月分配型)」
- 日本経済新聞社より『2011年日経優秀製品・サービス賞 -東日本大震災対応特別賞-』を受賞
 - 「東日本復興支援債券ファンド1105」



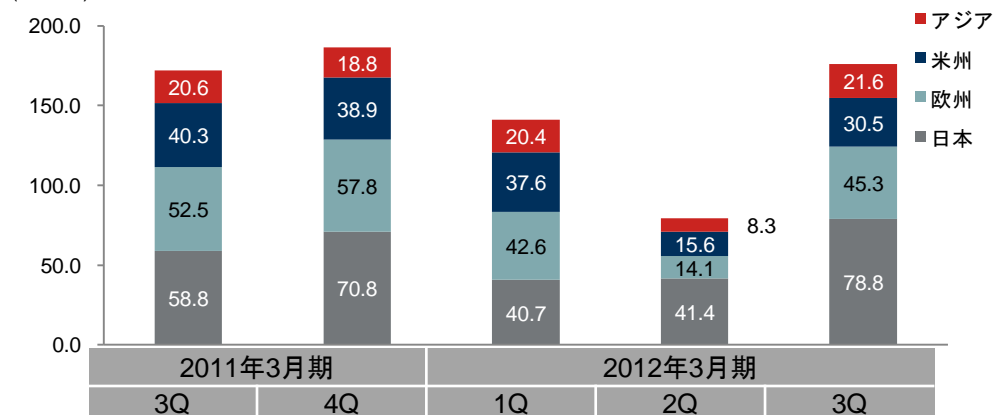
収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	2011年3月期		2012年3月期			前四半期比	前年同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
収益合計 (金融費用控除後)	172.2	186.3	141.2	79.3	176.2	2.2x	+2%
金融費用以外の費用	161.4	156.9	156.1	152.4	138.3	-9%	-14%
税前利益/損失	10.8	29.4	-14.9	-73.1	37.8	-	3.5x

地域別収益¹

(10億円)



(1) 2012年3月期第3四半期の開示に合わせるため、数値の組み替えを行っております。

(2) 「その他」を除くインベストメント・バンキングのグロス収益

決算のポイント

- 収益: 1,762億円 (前四半期比2.2倍、前年同期比2%増)
- 税前利益: 378億円 (前年同期比3.5倍)
- 全地域及び全ビジネスラインで、前四半期比、大幅増収
 - 顧客中心主義のビジネスアプローチが浸透し、各地域・ビジネスで顧客ニーズに対応したサービスを提供
 - フィクスト・インカム、エクイティの各プロダクトでトレーディング収益が改善
- 地域別概況 (第3四半期収益、前四半期比)
 - 日本 (788億円、90%増)
 - インベストメント・バンキング²は地域間連携の推進等により、M&AやDCMを軸に増収。プライベート・エクイティ・ビジネスも大きく収益に寄与
 - フィクスト・インカムは新商品へのビジネスフローが後押し、堅調に推移
 - 欧州 (453億円、3.2倍)
 - 主要プロダクトが好調でフィクスト・インカムが大幅増収
 - インベストメント・バンキング²では金融機関向け案件の執行や多様なソリューション提供により収益を拡大
 - 米州 (305億円、96%増)
 - 市場出来高が低迷する中、エクイティでは堅調なキャッシュとデリバティブの改善により収益が回復
 - フィクスト・インカムは、好調な為替と証券化商品の改善により増収
 - アジア (216億円、2.6倍)
 - 金利、為替、クレジットが寄与し、フィクスト・インカムが大幅増収

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	2011年3月期		2012年3月期			前四 半期比	前年 同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
フィクスト・インカム	71.7	69.4	67.6	45.7	71.2	+56%	-1%
エクイティ	61.5	64.3	56.7	33.4	39.7	+19%	-35%
その他	7.8	3.3	5.8	-6.5	7.7	-	-0%
収益合計(金融費用控除後)	141.0	137.0	130.1	72.6	118.7	+63%	-16%
金融費用以外の費用	127.8	125.5	124.3	121.2	110.3	-9%	-14%
税前利益/損失	13.2	11.5	5.7	-48.6	8.4	-	-36%

決算のポイント

- 収益: 1,187億円 (前四半期比63%増、前年同期比16%減)
- 税前利益: 84億円 (前年同期比36%減)

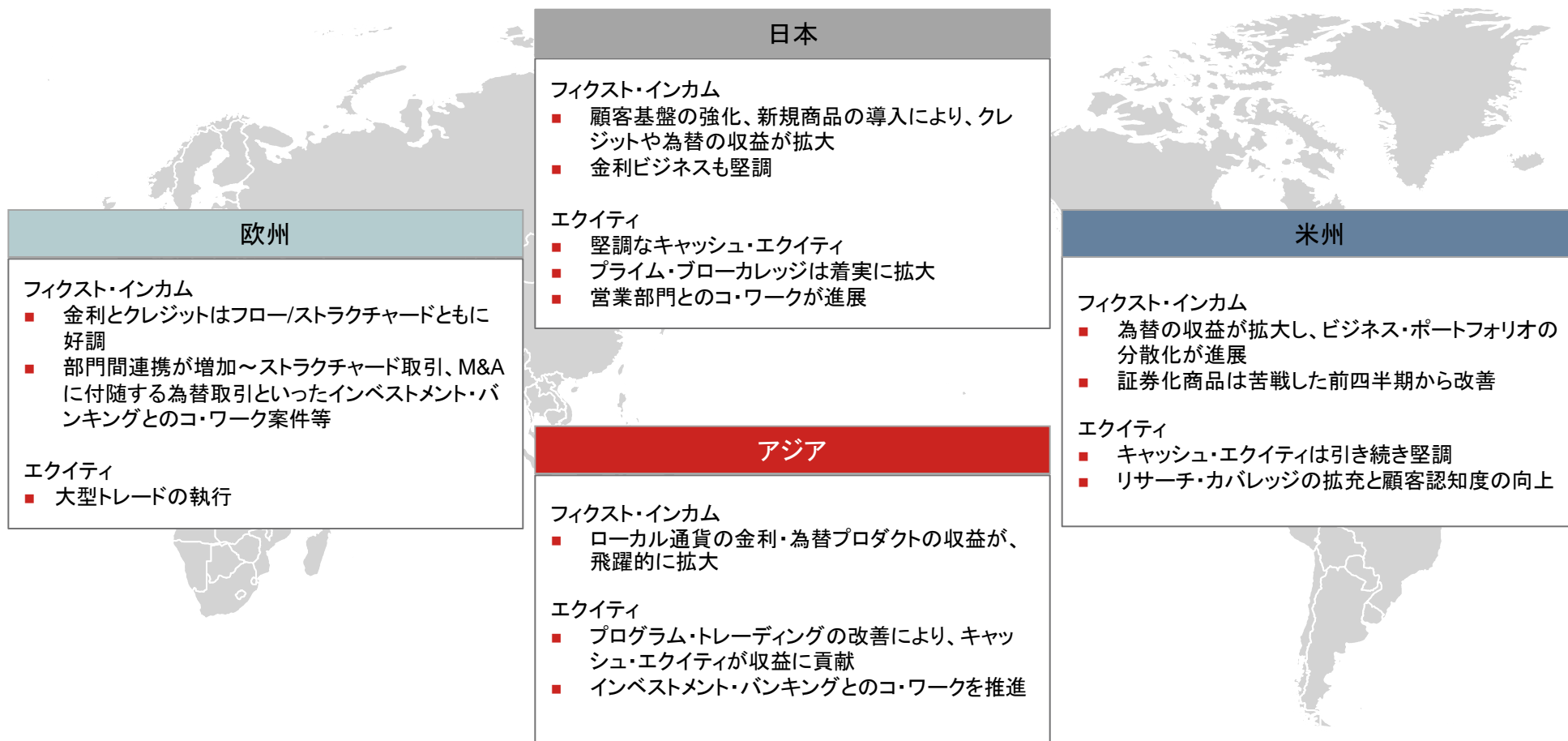
<フィクスト・インカム>

- 収益: 前四半期比56%増
- 難しい市場環境の中、ほぼ全てのプロダクトで前四半期比増収
 - 欧州、アジアの収益が伸長し、海外収益比率が上昇(上半期:53%→第3四半期:68%)
 - クレジット、金利ともにストラクチャード・ビジネスが収益を牽引、為替は顧客フローとトレーディング収益の増加により増収
 - 証券化商品では、エージェンシー・プロダクトが市場シェアを堅持
- 顧客フローからの収益: 前四半期比5%増

<エクイティ>

- 収益: 前四半期比19%増
- 顧客フローからの収益: 主要マーケットの出来高低迷が影響、前四半期比で減少
- 各地域の状況
 - 米州が好調
 - 堅調なキャッシュ・エクイティに加え、CB、デリバティブが改善
 - 前四半期比でアジアは増収、日本は若干の減収

フィクスト・インカム、エクイティの地域別状況



収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	2011年3月期		2012年3月期			前四 半期比	前年 同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
インベストメント・バンキング (グロス) ¹	61.9	54.4	32.3	23.8	45.1	+90%	-27%
その他部門等への アロケーション	25.6	25.1	13.4	12.3	21.7	+76%	-15%
インベストメント・バンキング (ネット)	36.2	29.3	18.9	11.5	23.4	2.0x	-35%
その他	-5.1	20.1	-7.7	-4.8	34.0	-	-
収益合計(金融費用控除後)	31.1	49.4	11.2	6.7	57.4	8.6x	+84%
金融費用以外の費用	33.5	31.5	31.8	31.2	28.0	-10%	-17%
税前利益/損失	-2.4	17.9	-20.6	-24.5	29.4	-	-

(1) 「その他」を除くインベストメント・バンキングのグロス収益

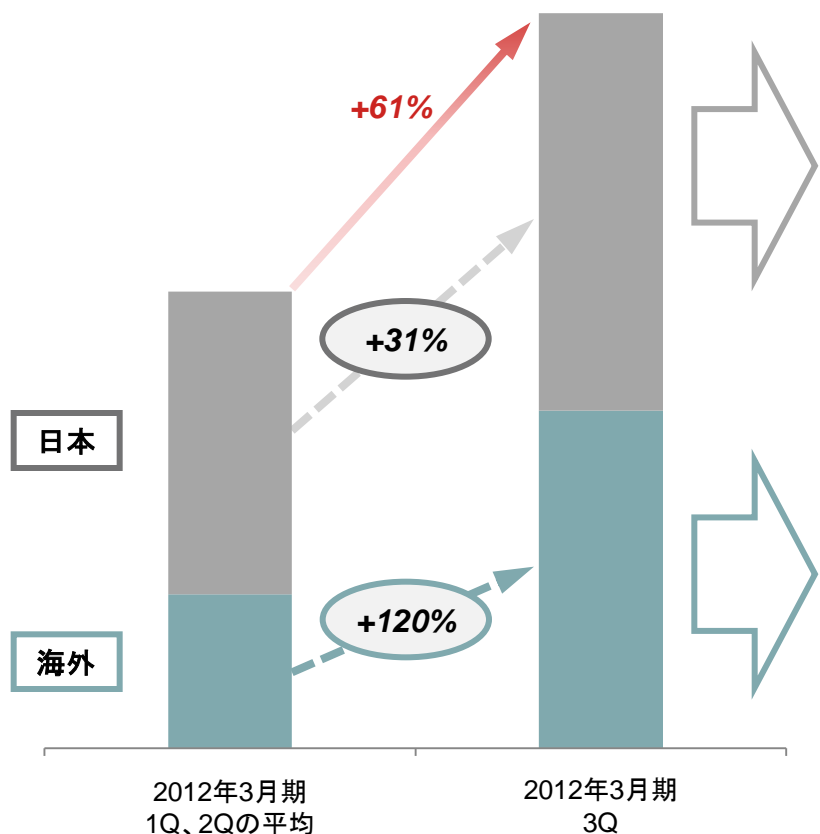
(2) 出所: トムソン・ロイター(期間: 2011/1/1~2011/12/31)、M&Aは不動産案件を含む

(3) 出所: トムソン・ディールウォッチ(期間: 2011/1/1~2011/12/31、自社債含む普通社債)

決算のポイント

- 収益(グロス)¹: 451億円 (前四半期比90%増、前年同期比27%減)
- 税前利益: 294億円
- 前四半期比、収益を大幅に改善
 - 日本及び海外ともに収益を拡大
 - 伝統的ビジネスに加えて、ソリューション・ビジネスも大きく収益に貢献
 - マザーマーケットを軸に、クロスボーダー案件を獲得・執行
 - プライベート・エクイティ・ビジネスで収益を計上
 - 収益拡大および大幅なコスト削減により、生産性が向上し、税前黒字を実現
- 日本
 - 国内外発行体の債券引受、クロスボーダーを含むM&Aが収益を牽引
 - リーグテーブル: #1 ECM(30.3%)², #1 DCM(25.2%)³, #1 M&A(37.1%)²
- 欧州
 - 欧州金融機関のECM、DCM共同主幹事案件を複数獲得
 - フィーパールが減少する中、収益性の高いソリューション案件が大きく収益に寄与
- アジア
 - M&A案件のクローズが収益に貢献
- 米州
 - フィナンシャル・スポンサー関連案件やソリューション・ビジネスで収益を計上

顧客ニーズに即したグローバルビジネス展開により、国内、海外ともに収益¹を拡大



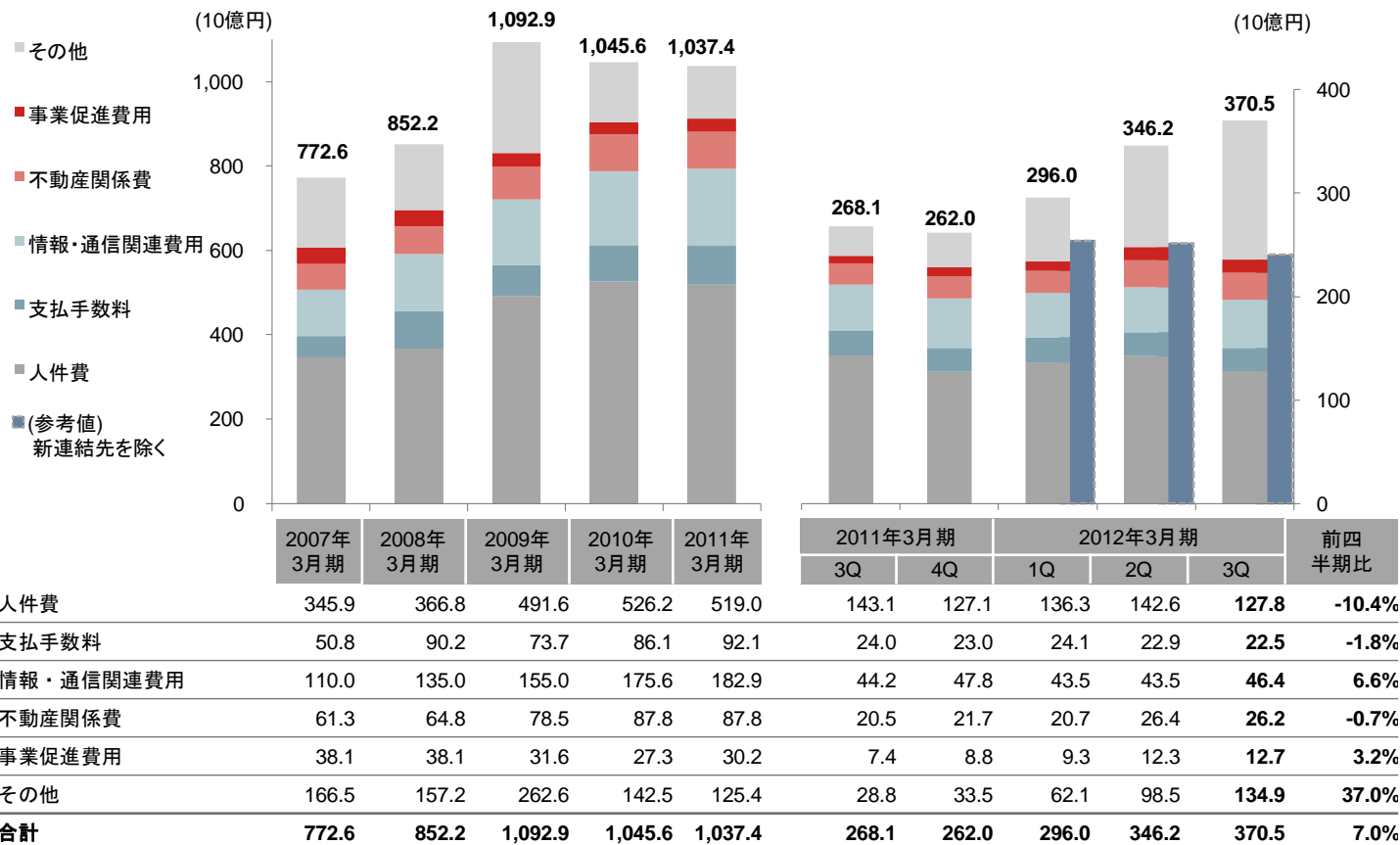
日本	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本企業の海外進出のニーズに対応 <ul style="list-style-type: none"> - 日本関連クロスボーダーM&A案件の実績を更に積み上げ ■ 相対的に安定した国内市場を生かしたグローバルビジネス連携 <ul style="list-style-type: none"> - サムライ債、売出張等の引受 - Nexon: 東証1部新規上場案件での共同主幹事獲得(980億円)
海外	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資本規制強化を背景とした欧州金融機関のファイナンス案件を獲得 <ul style="list-style-type: none"> - Rabobank: Tier1資本性証券(\$2bn) - Banca Popolare di Milano: ライツイシュー(€800m) ■ 高度化する顧客ニーズを捉えた商品・サービスを提供 <ul style="list-style-type: none"> - M&Aに付随するソリューション(為替、金利ヘッジ等) - 保有資産・負債にかかる各種ヘッジ - 保険ソリューション

(1) 「その他」を除くインベストメント・バンキングのグロス収益

通期

四半期

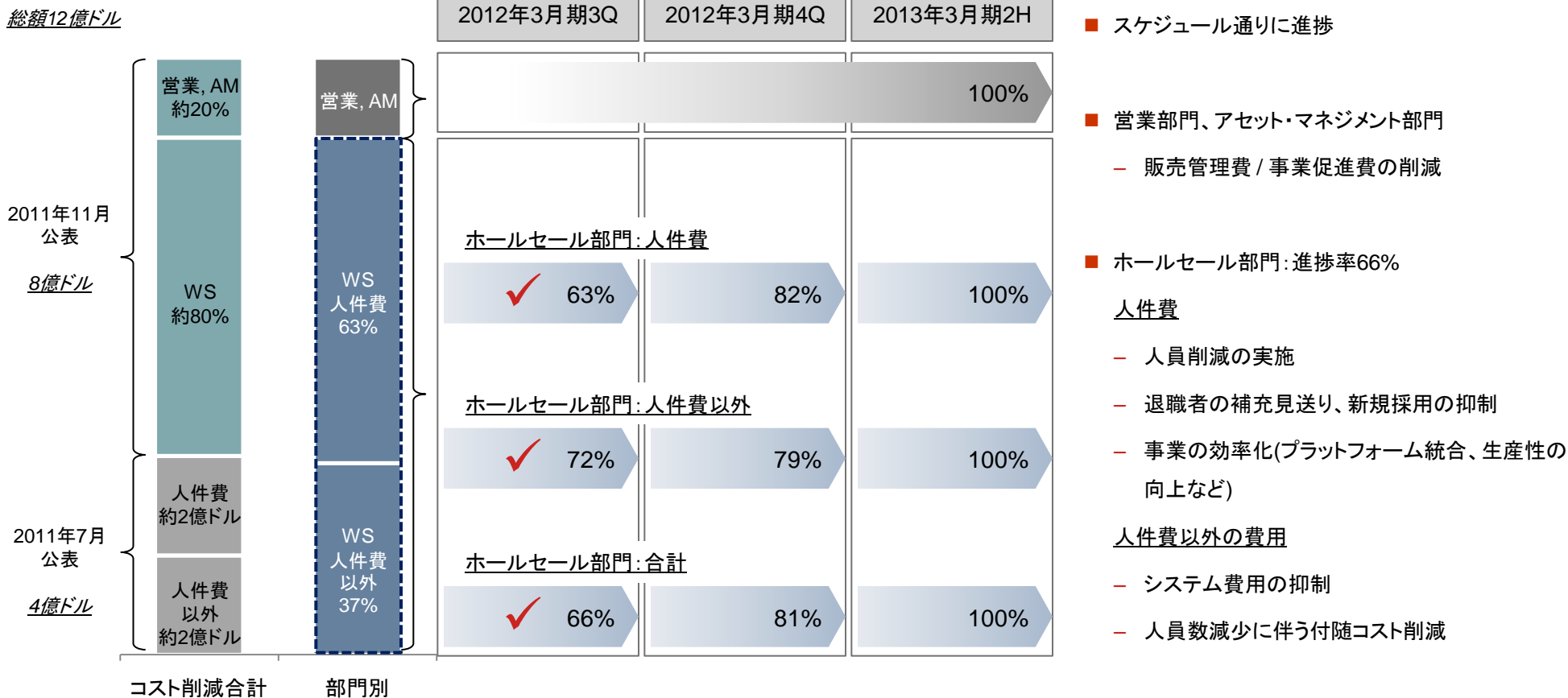
決算のポイント



- 金融費用以外の費用: 3,705億円 (前四半期比7%増)
- 新連結先を除いたベースでは、前四半期比で約4%減少
- 人件費: 前四半期比10%減
 - 適切なコスト管理
- その他費用: 前四半期比37%増
 - 新連結先の販売管理費(売上原価)増加が主な要因

総額12億ドルのコスト削減スケジュール

2011年12月末までの進捗



バランス・シート関連指標と自己資本比率

■ 資産合計	33.5兆円
■ 株主資本	2.1兆円
■ グロス・レバレッジ	16.2倍
■ 調整後レバレッジ ¹	10.1倍
■ レベル3資産 ²	約0.7兆円 (デリバティブ負債相殺後)
■ 手元流動性	5.5兆円

(10億円)

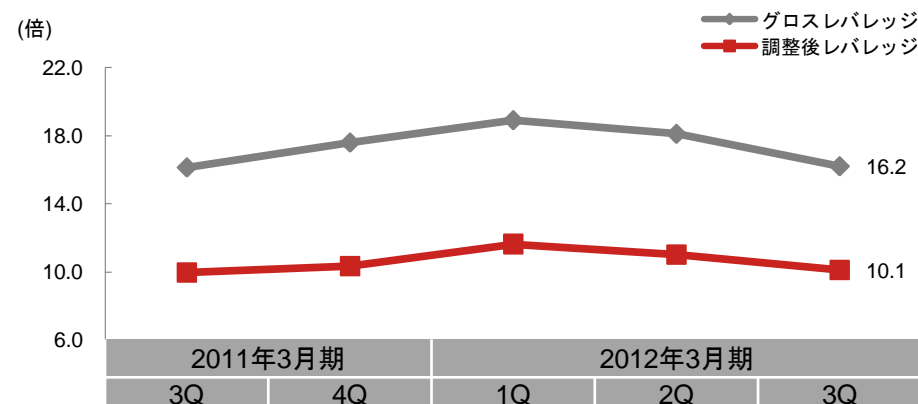
速報値	9月末 (バーゼル2ベース)	12月末 (バーゼル2.5ベース)
Tier 1	2,050	2,057
Tier 2	449	323
Tier 3	132	302
自己資本合計	2,530	2,466
リスク調整後資産	12,899	15,887
Tier 1 比率	15.8%	12.9%
Tier 1 コモン比率 ³	13.7%	11.1%
自己資本比率	19.6%	15.5%

(1) 調整後レバレッジは、総資産の額から売却条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、野村ホールディングス株主資本の額で除して得られる比率

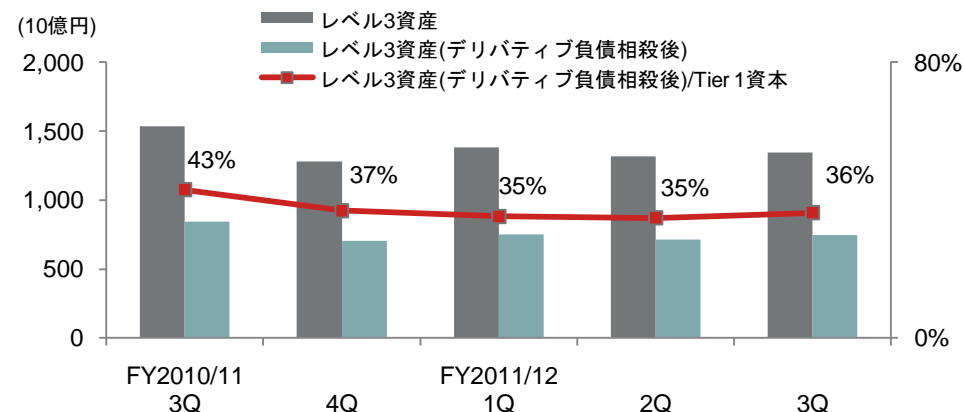
(2) 暫定数値

(3) Tier 1コモン比率: Tier 1資本から非支配持分を控除し、リスク調整後資産で除したものの

グロス・レバレッジ、調整後レバレッジ¹



レベル3資産²の推移と対Tier 1資本比率



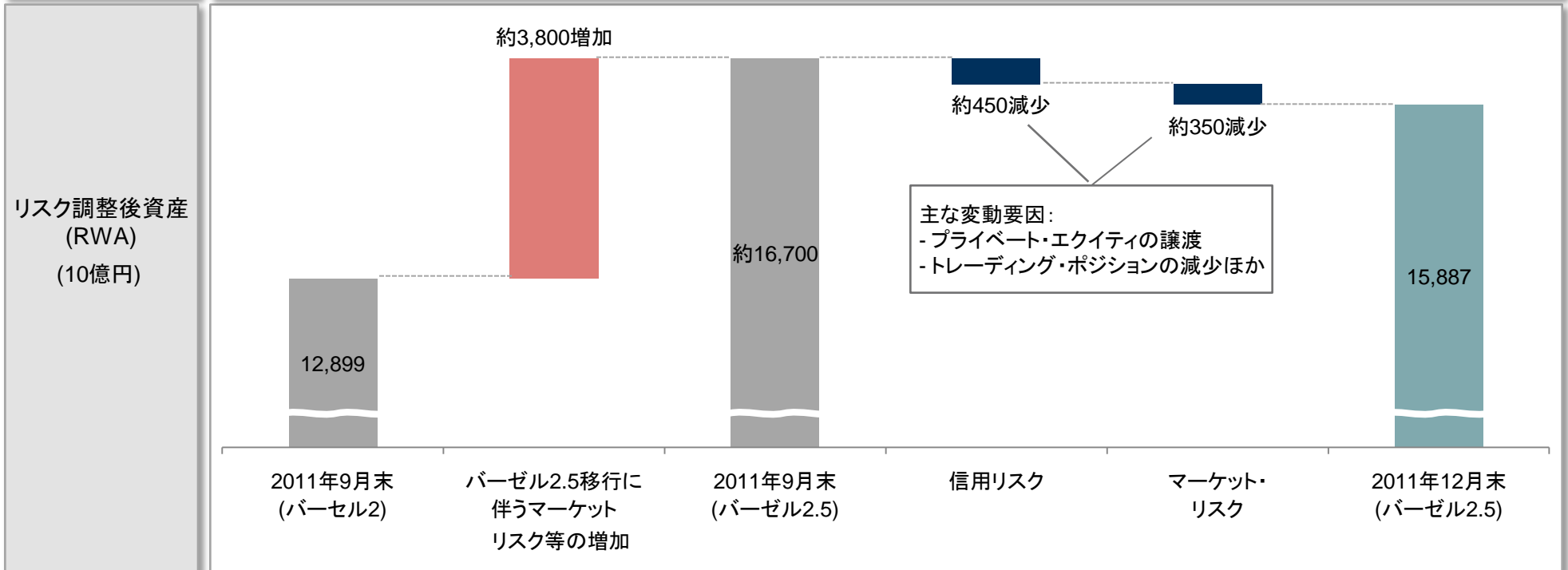
自己資本(Tier 1)、リスク調整後資産の変動

2011年9月末 vs. 12月末

← 試算値 →

← 速報値 →

Tier 1比率	15.8%	12.2%	12.9%
Tier 1コモン比率	13.7%	10.5%	11.1%



安定したバランスシート構造



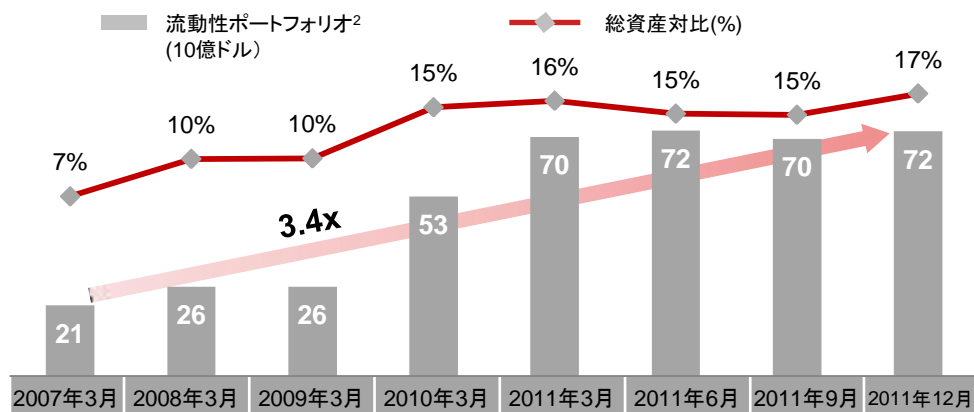
■ バランスシートは構造的に安定

- 資産の75%は流動性の高いトレーディング関連資産。レポ等を通じてトレーディング関連負債とマッチング(地域、通貨)
- その他の資産は、資本及び長期負債で調達

■ 十分な流動性ポートフォリオ残高を維持

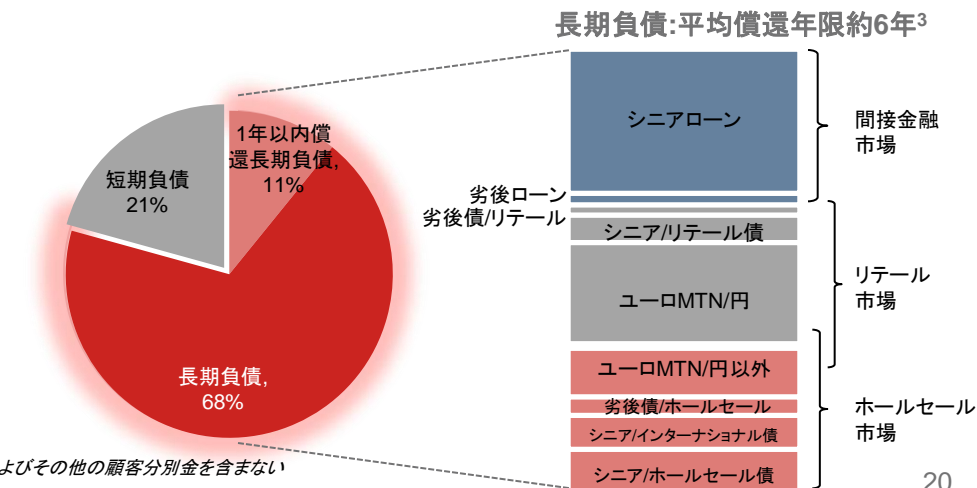
- 総資産の17%
- 日・米・独・英の国債を中心としたリバースレポ、現預金⁴等で運用
- 更なる事業環境の変化に対しても、新たな無担保資金調達に頼らず、1年以上、事業継続可能な高品質の流動性を常時保持

事業環境の変化に対応する十分な資金流動性を確保



(1) トレーディング関連資産:リバースレポ、証券、デリバティブ等、トレーディング関連負債:レポ、負債証券、デリバティブ等
 (2) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオの中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない
 (3) ストレスシナリオでの早期償還確率を織り込む
 (4) 主に日銀当座預金

無担保資金調達²:約80%が長期負債、調達先は分散化



欧州周辺国(GIIPS)のカントリー・エクスポージャー(2011年12月末現在)

(百万ドル)

	インベントリー(ネット) ¹			カウンターパーティ(ネット)			ネット・エク スポー ジャー合計	9月末から の変動
	合計	うち、6か月 以内	うち、6ヶ月 超	合計	うち、カウ ンター パーティ ²	うち、引当 ヘッジ等		
ギリシャ	-4	-47	43	46	112	-66	42	-5
アイルランド	509	378	131	4	7	-3	513	205
イタリア	591	1,080	-489	212	545	-333	803	-2,012
ポルトガル	-115	-18	-97	16	161	-144	-99	-19
スペイン	41	24	17	218	339	-122	259	-206
欧州周辺国 - 合計	1,022	1,418	-396	496	1,164	-668	1,518	-2,036

1,022 + 496 = 1,518

- 12月末現在、欧州周辺国へのネット・カントリー・エクスポージャーは15.2億ドル
 - 9月末(35.5億ドル)から20.4億ドル(57%)減少

- ネット・カントリー・エクスポージャーの53%(8.0億ドル)がイタリア
 - 9月末(28.1億ドル)から20.1億ドル(71%)減少

- インベントリーは全てトレーディング資産として保有しており、Mark-to-marketの対象

(1) ロング・ショートをネットした商品在庫
 (2) レボ取引、株券貸借取引、OTCデリバティブ等(受入担保価値控除後)

NOMURA

Financial Supplement

連結貸借対照表

(10億円)	2011年 3月末	2011年 12月末	前期比 増減		2011年 3月末	2011年 12月末	前期比 増減
資産				負債			
現金・預金	2,150	1,770	-381	短期借入	1,167	1,307	140
				支払債務および受入預金	2,104	1,949	-155
貸付金および受取債権	2,228	2,548	320	担保付調達	13,686	11,896	-1,791
				トレーディング負債	8,689	6,223	-2,466
担保付契約	15,156	12,604	-2,552	その他の負債	552	1,132	579
				長期借入	8,403	8,641	238
トレーディング資産*および プライベート・エクイティ投資	15,242	12,872	-2,370	負債合計	34,601	31,147	-3,454
その他の資産	1,916	3,701	1,784	資本			
				野村ホールディングス株主資本合計	2,083	2,061	-21
資産合計	36,693	33,495	-3,198	非支配持分	9	286	277
				負債および資本合計	36,693	33,495	-3,198

*担保差入有価証券を含む

■ VaRの前提

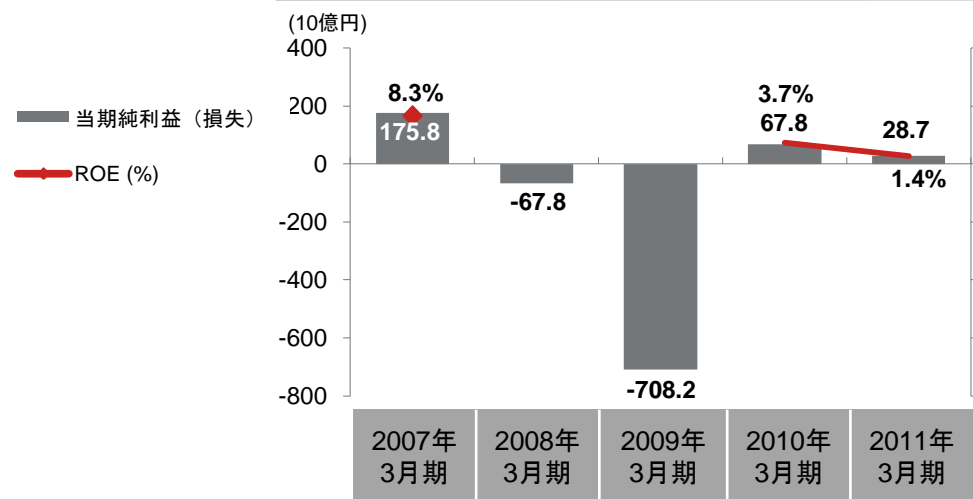
- 信頼水準 : 片側検定99%(2.33標準偏差)
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

■ VaRの実績(10億円)

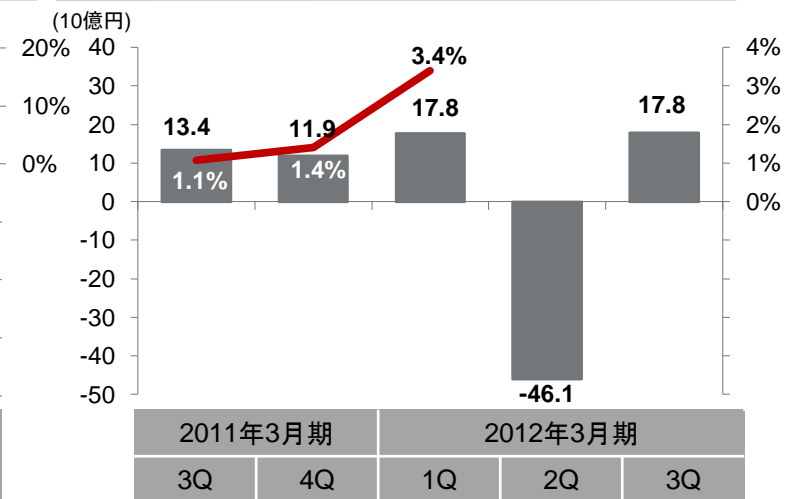
- 期間 : 11.4.1~11.12.30
- 最大 : 9.7
- 最小 : 4.9
- 平均 : 6.5

(10億円)	2007年 3月末	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2011年 3月末	2011年 6月末	2011年 9月末	2011年 12月末
株式関連	4.7	4.2	3.8	2.6	1.8	1.6	1.9	1.5
金利関連	3.7	4.7	6.7	4.4	4.1	4.3	4.0	5.0
為替関連	1.4	8.0	8.7	10.5	4.5	3.8	2.8	3.5
小計	9.8	16.9	19.2	17.5	10.4	9.7	8.8	10.0
分散効果	-3.6	-6.8	-7.5	-5.0	-4.1	-3.7	-3.6	-3.6
連結VaR	6.2	10.1	11.7	12.6	6.3	6.0	5.2	6.4

通期



四半期



収益合計(金融費用控除後)	1,091.1	787.3	312.6	1,150.8	1,130.7	295.9	299.4	330.4	301.6	404.9
税引前当期純利益(損失)	318.5	-64.9	-780.3	105.2	93.3	27.8	37.4	34.4	-44.6	34.5
野村ホールディングス株主に帰属する当期純利益(損失) ¹⁾	175.8	-67.8	-708.2	67.8	28.7	13.4	11.9	17.8	-46.1	17.8
野村ホールディングス株主資本合計	2,185.9	1,988.1	1,539.4	2,126.9	2,082.8	2,061.5	2,082.8	2,101.7	2,037.6	2,061.5
ROE(%)*	8.3%	-	-	3.7%	1.4%	1.1%	1.4%	3.4%	-	-
野村ホールディングス株主に帰属する基本的1株当たり当期純利益(損失) (円)	92.25	-35.55	-364.69	21.68	7.90	3.72	3.30	4.93	-12.64	4.87
1株当たり株主資本(円)	1,146.23	1,042.60	590.99	579.70	578.40	572.57	578.40	583.27	556.52	562.83

* 四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

(1) 従来の当期純利益(損失)を野村ホールディングスに帰属する当期純利益(損失)として表示しております。

(10億円)	通期					四半期				
	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2011年3月期		2012年3月期		
						3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
収益										
委託・投信募集手数料	337.5	404.7	306.8	395.1	405.5	100.0	103.8	96.8	85.9	74.0
投資銀行業務手数料	99.3	85.1	55.0	121.3	107.0	34.0	27.8	13.8	13.8	17.2
アセットマネジメント業務手数料	146.0	189.7	140.2	132.2	143.9	37.1	38.3	39.1	36.7	33.4
トレーディング損益	290.0	61.7	-128.3	417.4	336.5	104.9	68.7	67.5	26.0	80.1
プライベート・エクイティ投資関連損益	47.6	76.5	-54.8	11.9	19.3	-2.4	23.6	-6.0	-2.3	34.6
金融収益	981.3	796.5	331.4	235.3	346.1	106.9	93.5	133.1	107.3	103.1
投資持分証券関連損益	-20.1	-48.7	-25.5	6.0	-16.7	2.1	-2.8	-0.6	-2.5	-2.8
プライベート・エクイティ投資先企業売上高	100.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	67.4	28.2	39.9	37.5	43.9	3.4	12.2	83.4	113.0	141.9
収益合計	2,049.1	1,593.7	664.5	1,356.8	1,385.5	386.0	365.0	427.0	377.8	481.5
金融費用	958.0	806.5	351.9	205.9	254.8	90.2	65.6	96.6	76.3	76.6
収益合計(金融費用控除後)	1,091.1	787.3	312.6	1,150.8	1,130.7	295.9	299.4	330.4	301.6	404.9
金融費用以外の費用	772.6	852.2	1,092.9	1,045.6	1,037.4	268.1	262.0	296.0	346.2	370.5
税引前当期純利益(損失)	318.5	-64.9	-780.3	105.2	93.3	27.8	37.4	34.4	-44.6	34.5
野村ホールディングス株主に帰属する当期純利益(損失)	175.8	-67.8	-708.2	67.8	28.7	13.4	11.9	17.8	-46.1	17.8

(10億円)	通期					四半期					
	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2011年3月期		2012年3月期			
						3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
委託・投信 募集手数料	株式委託手数料(営業)	98.3	75.1	50.8	55.3	51.4	12.7	16.3	8.7	9.2	7.0
	株式委託手数料(その他)	73.2	166.6	144.7	140.3	144.6	35.9	37.7	34.2	34.4	32.3
	その他委託手数料	6.8	9.3	7.9	8.0	11.5	2.3	5.3	2.5	3.2	2.0
	投信募集手数料	120.5	121.2	75.9	165.9	166.4	39.8	34.8	43.1	31.0	24.9
	その他	38.6	32.4	27.5	25.5	31.6	9.5	9.7	8.2	8.2	7.8
	合計	337.5	404.7	306.8	395.1	405.5	100.0	103.8	96.8	85.9	74.0
投資銀行 業務手数料	株式	56.6	32.1	13.2	74.9	49.8	21.8	9.8	2.7	2.1	4.2
	債券	15.3	13.4	11.9	16.6	26.3	4.8	6.8	3.4	5.0	4.5
	M&A・財務コンサルティング フィー	26.7	37.8	26.7	29.2	27.1	6.8	8.4	7.3	6.4	7.5
	その他	0.7	1.8	3.1	0.5	3.9	0.6	2.8	0.3	0.4	1.1
	合計	99.3	85.1	55.0	121.3	107.0	34.0	27.8	13.8	13.8	17.2
アセット マネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	106.3	150.3	104.1	97.6	106.7	27.8	28.7	29.5	27.8	24.9
	アセット残高報酬	24.0	21.7	21.3	19.4	21.0	5.0	4.9	4.8	4.5	4.3
	カストディアルフィー	15.7	17.7	14.7	15.3	16.3	4.3	4.7	4.7	4.4	4.2
	合計	146.0	189.7	140.2	132.2	143.9	37.1	38.3	39.1	36.7	33.4

連結決算数値とセグメント数値間の調整: 税前利益(損失)

(10億円)	通期					四半期				
	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2011年3月期		2012年3月期		
						3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業部門	160.9	122.3	18.2	113.4	101.2	23.0	17.7	22.0	10.7	10.1
アセット・マネジメント部門	36.3	31.1	4.1	15.2	20.0	5.6	6.3	7.4	4.7	4.2
ホールセール部門	156.0	-150.1	-717.3	175.2	6.7	10.8	29.4	-14.9	-73.1	37.8
3セグメント合計税前利益(損失)	353.2	3.3	-695.0	303.8	127.9	39.4	53.4	14.6	-57.7	52.2
その他	24.0	-18.1	-62.1	-207.9	-17.8	-13.3	-12.9	21.0	15.4	-15.2
セグメント合計税前利益(損失)	377.3	-14.7	-757.1	95.8	110.2	26.1	40.5	35.6	-42.3	36.9
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	-38.2	-50.2	-23.1	9.4	-16.9	1.7	-3.0	-1.3	-2.4	-2.5
プライベート・エクイティ投資先企業等の 連結/連結除外等による影響	-20.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益(損失)	318.5	-64.9	-780.3	105.2	93.3	27.8	37.4	34.4	-44.6	34.5

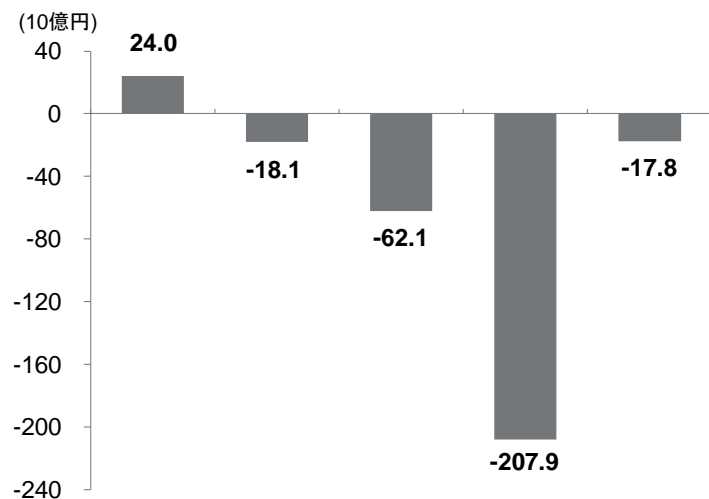
(1) 投資有価証券の利益(損失)、関連会社利益(損失)の持分額、長期性資産の減損、本社勘定、その他の財務調整項目等は、事業別セグメント情報においては「その他」として表示されています。また営業目的で保有する投資持分証券の評価損益と、プライベート・エクイティ投資先企業等の連結/連結除外等による影響はセグメント情報には含まれておりません。

(2) 2009年3月期第2四半期にアセット・マネジメント部門の確定拠出年金ビジネスをその他のビジネスに統合したことに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替えております。

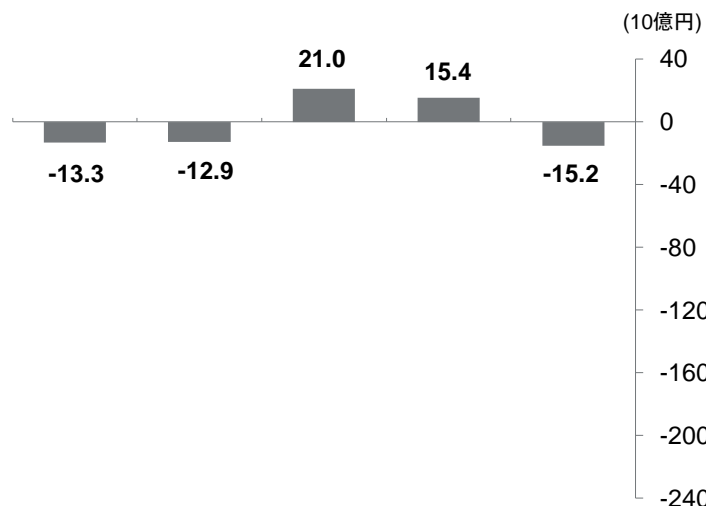
(3) 2011年4月にアセット・マネジメント部門のノムラ・バンク・ルクセンブルグS.A.をその他のビジネスに統合したことに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替えております。

税前利益(損失)

通期



四半期



	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2011年3月期		2012年3月期		
	3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	-30.0	11.4	28.0	3.3	2.3	5.2	-2.1	-1.5	4.2	7.7
営業目的で保有する投資持分証券の実現損益	18.1	1.5	-2.4	-3.4	0.2	0.4	0.3	0.7	-0.2	-0.3
関連会社損益の持分額	53.2	4.7	-0.7	7.8	9.0	1.4	5.3	3.5	2.0	1.3
本社勘定	-11.1	-13.4	-70.5	-83.3	-33.3	-15.7	-20.7	12.8	-8.4	-28.9
その他*	-6.2	-22.3	-16.5	-132.3	4.0	-4.6	4.3	5.6	17.8	4.9
税前利益(損失)	24.0	-18.1	-62.1	-207.9	-17.8	-13.3	-12.9	21.0	15.4	-15.2

* 3部門に含まれないその他のビジネス(野村信託銀行等)は「その他」に含む。

(1) 2009年3月期第2四半期にアセット・マネジメント部門の確定拠出年金ビジネスをその他のビジネスに統合したことに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替えております。

(2) 従来「経済的ヘッジ取引に関連するトレーディング損益」を区分して表示しておりましたが、2010年3月期第4四半期より「経済的ヘッジ取引に関連する損益」に改め、従来その他に含めておりましたトレーディング損益以外の関連損益もあわせて表示しております。なお、従来「経済的ヘッジ取引に関連するトレーディング損益」に含まれておりました一部の仕組債にかかる自社クレジットの変動による損益をその他に振り替えて表示しております。

(3) 2011年4月にアセット・マネジメント部門のノムラ・バンク・ルクセンブルグS.A.をその他のビジネスに統合したことに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替えております。

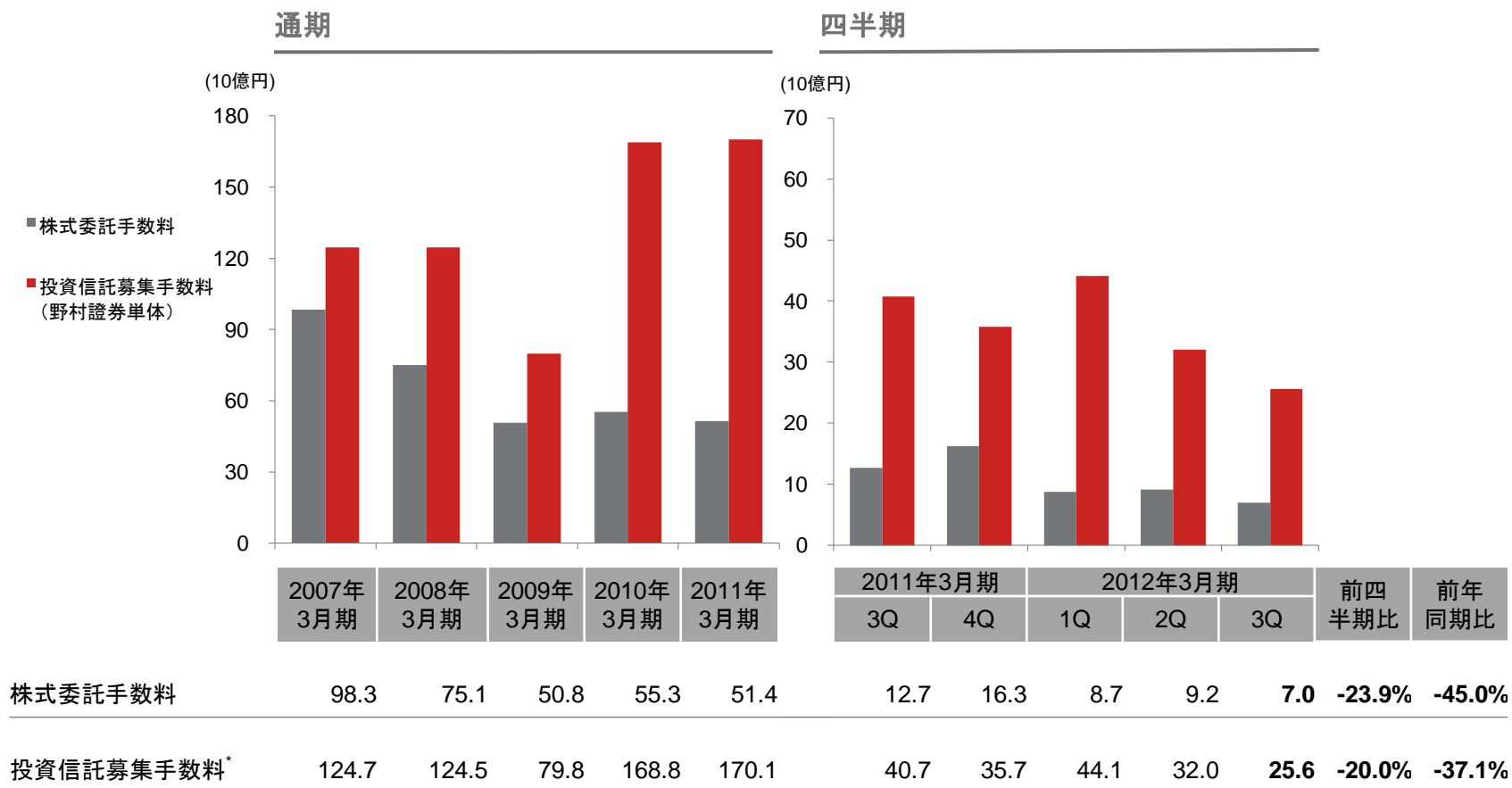
営業部門関連データ(1)

NOMURA

(10億円)	通期					四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2011年3月期		2012年3月期				
						3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
委託・投信募集手数料	251.4	225.9	151.0	238.9	244.8	60.2	58.8	58.7	48.2	38.7	-19.7%	-35.7%
販売報酬	96.8	94.2	71.4	63.8	52.8	13.0	13.2	15.2	13.0	15.2	16.3%	16.7%
投資銀行業務手数料	24.0	14.9	13.4	33.6	42.3	11.0	10.7	6.2	9.5	13.7	44.5%	24.7%
投資信託残高報酬等	47.5	59.7	50.9	47.3	48.5	12.2	12.4	12.9	12.3	10.9	-11.1%	-10.6%
純金融収益等	20.4	7.3	5.2	4.7	4.1	1.1	1.2	1.2	1.0	1.2	26.6%	11.5%
収益合計(金融費用控除後)	440.1	402.0	291.9	388.3	392.4	97.5	96.2	94.2	84.0	79.7	-5.1%	-18.2%
金融費用以外の費用	279.3	279.7	273.6	274.9	291.2	74.5	78.6	72.2	73.3	69.6	-5.0%	-6.5%
税前利益	160.9	122.3	18.2	113.4	101.2	23.0	17.7	22.0	10.7	10.1	-5.9%	-56.1%
国内投信販売金額 [*] (10億円)		9,846.9	6,825.1	9,713.2	9,473.5	2,258.8	2,312.9	2,642.7	2,081.8	1,827.5	-12.2%	-19.1%
公社債投信		3,681.8	2,731.6	2,380.1	2,641.8	650.1	718.9	787.6	647.3	691.3	6.8%	6.3%
株式投信		4,816.1	2,969.3	6,165.7	5,606.9	1,327.4	1,342.9	1,577.9	1,203.1	956.9	-20.5%	-27.9%
外国投信		1,349.0	1,124.2	1,167.4	1,224.8	281.3	251.0	277.3	231.4	179.3	-22.5%	-36.3%
その他(10億円)												
年金保険契約累計額(期末)	990.4	1,205.3	1,413.3	1,609.2	1,697.3	1,675.2	1,697.3	1,722.7	1,756.4	1,780.4	1.4%	6.3%
個人向け国債販売額 (約定ベース)	615.2	292.3	109.6	22.2	32.8	10.7	15.8	36.7	102.9	78.9	-23.3%	7.4x
リテール外債販売額	677.1	954.0	867.4	1,080.3	1,565.6	328.7	388.2	414.0	439.7	452.2	2.9%	37.6%

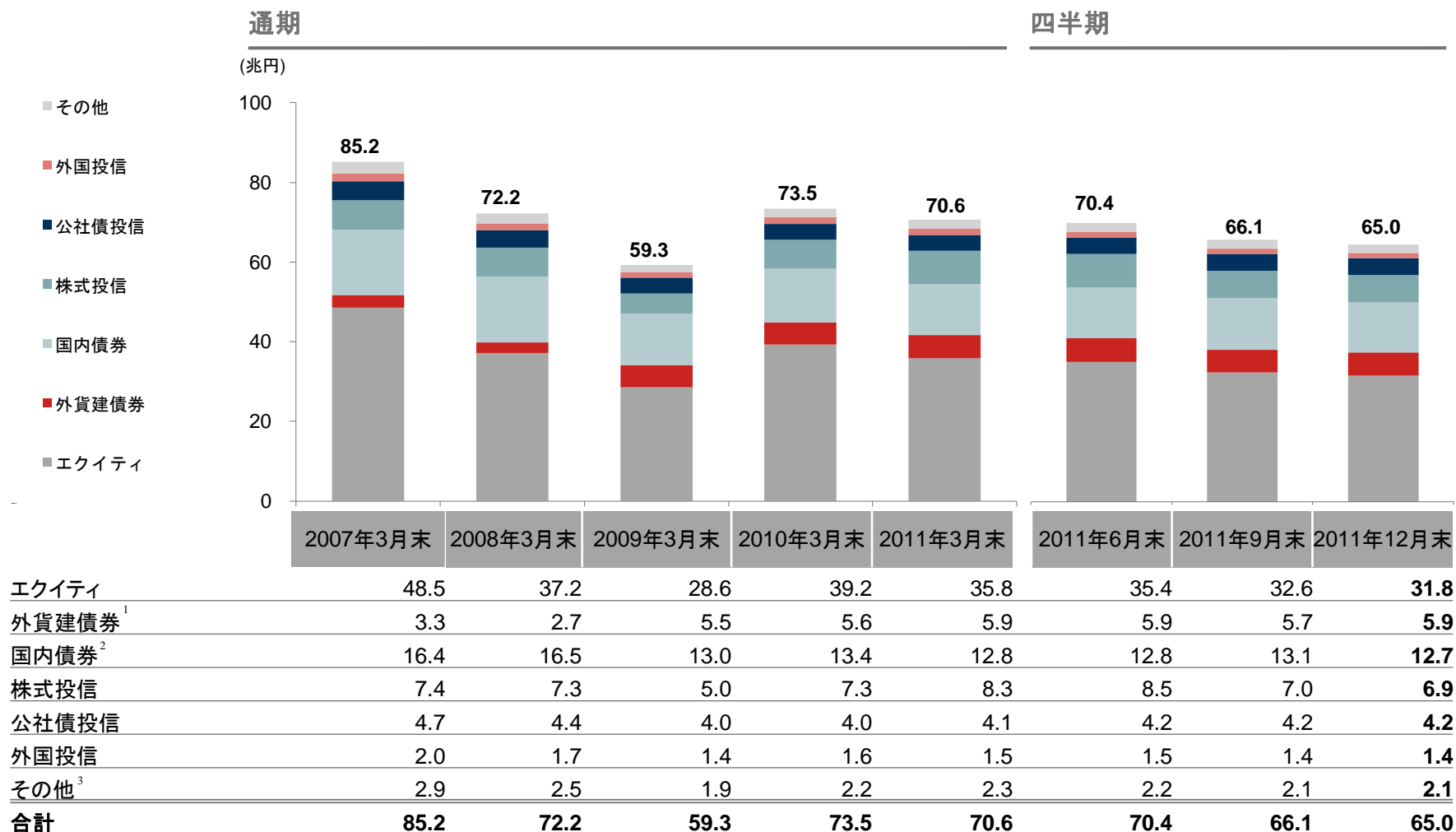
*野村証券単体ベース

株式委託手数料と投資信託募集手数料*



*野村証券単体ベース

営業部門顧客資産残高



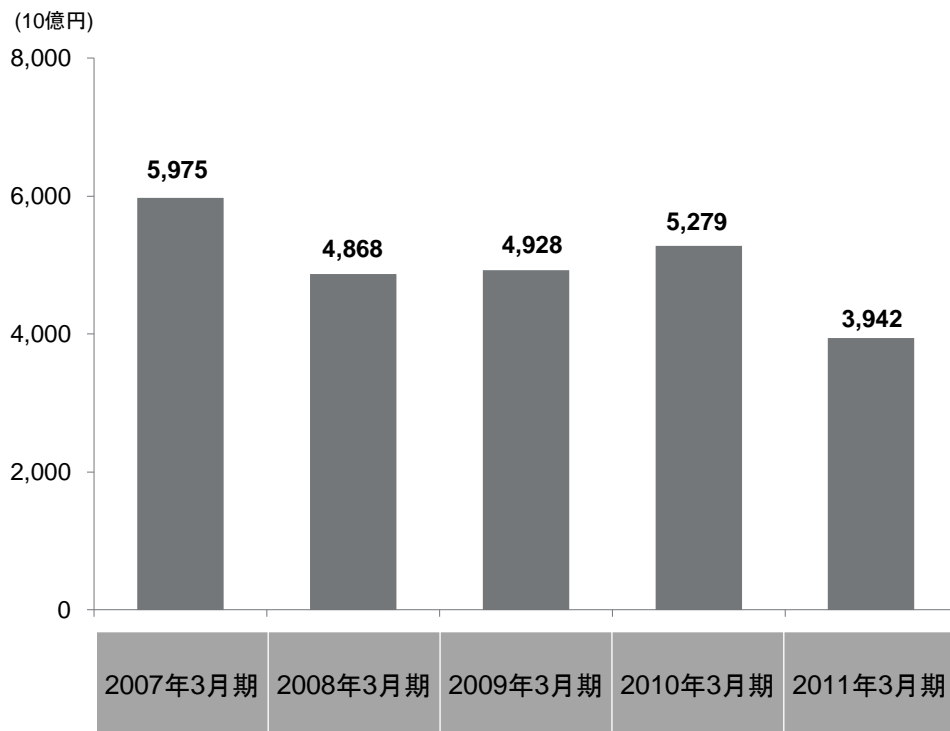
(1) 2009年3月期第3四半期よりユーロ円債の区分を国内債券から外貨建債券へ変更

(2) CB・フロントを含む

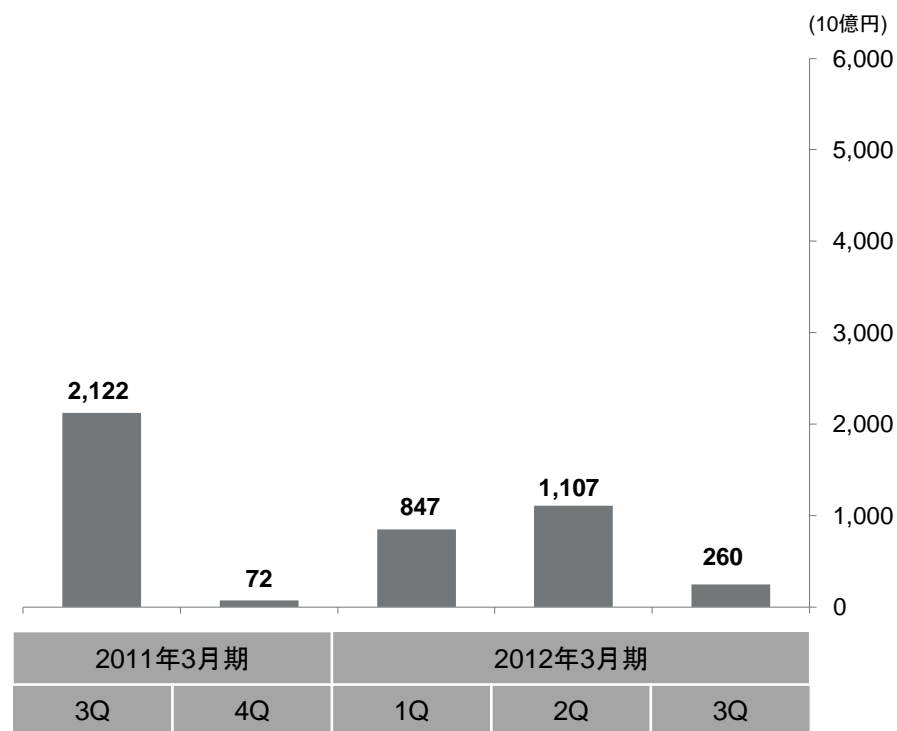
(3) 年金保険契約資産残高を含む

営業部門顧客資産純増¹

通期



四半期



(1) 地域金融機関分を除く

注: 資産純増=資産流入額-資産流出額

口座数

(千口座)	2007年 3月末	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2011年 3月末	2011年 6月末	2011年 9月末	2011年 12月末
残あり顧客口座数	3,953	4,165	4,467	4,883	4,936	4,945	4,954	4,966
株式保有口座数	1,853	2,027	2,347	2,572	2,695	2,696	2,703	2,707
ホームトレード/ ネット&コール口座数 ¹	2,243	2,765	3,095	3,189	3,328	3,348	3,369	3,745

個人新規開設口座数・IT比率²

(千口座)	通期					四半期				
	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2011年3月期		2012年3月期		
						3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
個人新規開設口座数	417	580	608	336	326	81	69	69	53	50
IT比率 ²										
売買件数ベース	55%	57%	59%	58%	53%	43%	58%	58%	59%	56%
売買金額ベース	27%	29%	29%	29%	27%	19%	31%	32%	32%	29%

(1) 2011年12月末より、ホームトレードとネット&コールを合算した口座数を掲載

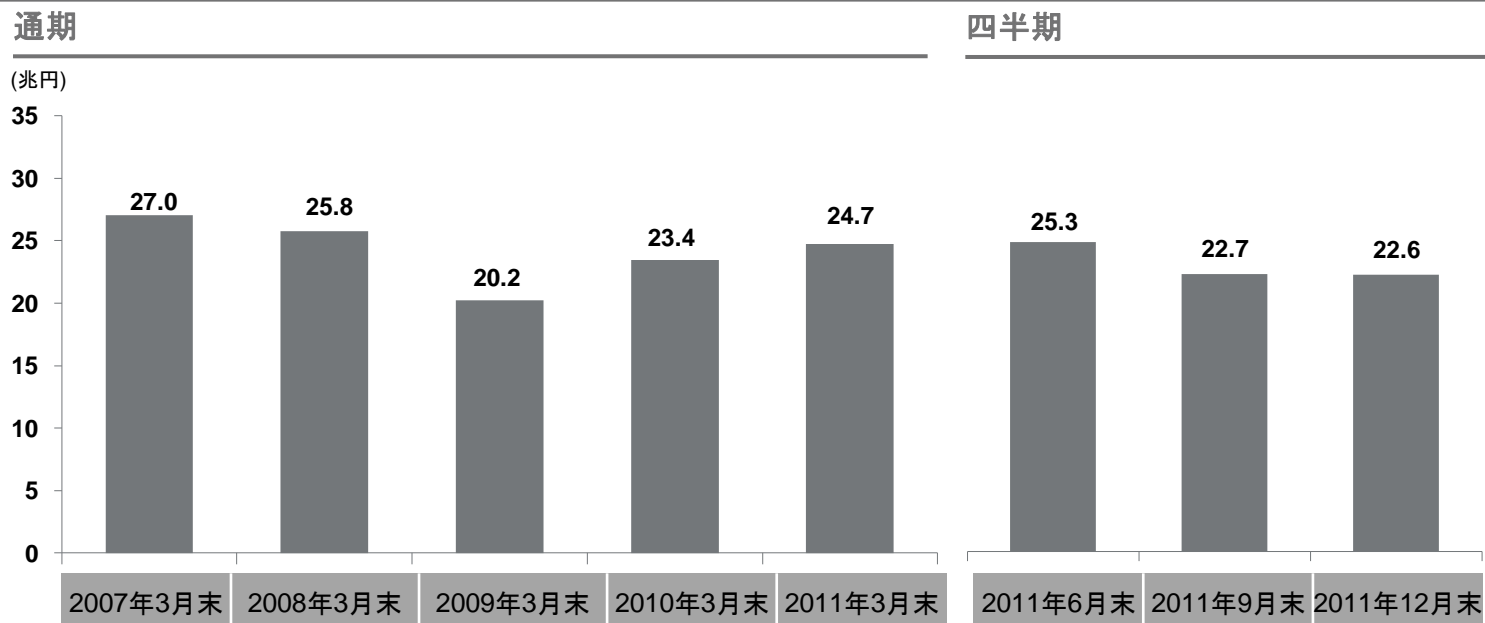
(2) IT比率は現物株と株式ミニ投資の合計においてホームトレードとテレフォンアンサーで売買された割合

アセット・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2011年3月期		2012年3月期			前四 半期比	前年 同期比
	3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
収益合計(金融費用控除後)	80.7	81.1	51.9	62.1	66.5	17.3	17.3	18.8	16.0	15.3	-4.1%	-11.4%
金融費用以外の費用	44.4	50.0	47.8	46.8	46.5	11.7	11.0	11.4	11.2	11.1	-1.6%	-5.5%
税前利益	36.3	31.1	4.1	15.2	20.0	5.6	6.3	7.4	4.7	4.2	-10.0%	-23.9%

(1) 2009年3月期第2四半期にアセット・マネジメント部門の確定拠出年金ビジネスをその他のビジネスに統合したことに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替えております。
 (2) 2011年4月にアセット・マネジメント部門のノムラ・バンク・ルクセンブルグS.A.をその他のビジネスに統合したことに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替えております。

アセット・マネジメント部門 運用資産残高¹



(1) 野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・アセット・マネジメント・ドイチェランド、ノムラ・ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー・アメリカ、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの各運用資産の合計。グループ運用会社間の重複資産調整後。ノムラ・ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー・アメリカの数値については2011年11月末値にて算出

野村アセットマネジメント 投資信託純資産残高¹

(兆円)	2007年 3月末	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2011年 3月末	2011年 6月末	2011年 9月末	2011年 12月末
公募株式投信	10.8	9.8	6.5	8.1	9.4	9.5	8.1	8.0
公募公社債投信	5.8	5.3	4.8	4.8	4.8	4.8	4.6	4.6
私募投信	2.2	2.0	1.6	1.7	1.7	1.7	1.5	1.5
投資信託	18.8	17.2	13.0	14.7	15.9	16.0	14.2	14.1

野村アセットマネジメント 投資顧問契約資産残高¹

(兆円)	2007年 3月末	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2011年 3月末	2011年 6月末	2011年 9月末	2011年 12月末
国内	3.7	4.6	4.3	4.7	4.4	4.9	4.7	4.7
海外	3.4	2.4	1.7	2.6	5.3	5.7	4.5	4.4
投資顧問	7.1	7.1	6.0	7.3	9.7	10.6	9.2	9.1

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア²

(兆円)	2007年 3月末	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2011年 3月末	2011年 6月末	2011年 9月末	2011年 12月末
国内公募株式投信残高								
マーケット	59.4	57.7	40.4	52.6	54.2	54.6	47.3	46.8
野村アセットマネジメントシェア(%)	18%	17%	16%	15%	17%	17%	17%	17%
国内公募公社債投信残高								
マーケット	13.2	12.0	11.1	11.1	11.1	11.1	10.5	10.6
野村アセットマネジメントシェア(%)	44%	44%	43%	43%	43%	43%	43%	43%

野村アセットマネジメント単体 投資信託資金流出入¹

(兆円)	通期					四半期				
	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2011年3月期		2012年3月期		
						3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
公募株式投信	3.8	2.0	0.0	-0.2	1.7	0.1	0.3	0.3	0.3	-0.1
除くETF	3.7	1.8	-0.4	0.0	1.7	0.4	0.3	0.3	0.1	-0.2
公募公社債投信	0.2	-0.5	-0.5	-0.0	0.0	0.3	-0.1	0.0	-0.3	0.0
私募投信	0.7	0.2	0.1	-0.2	0.0	0.1	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0
資金流出入計	4.6	1.7	-0.4	-0.4	1.7	0.5	0.3	0.4	-0.0	-0.1

(1) 投資信託協会および日本証券投資顧問業協会への報告基準ベース

(2) 出所: 投資信託協会

ホールセール部門関連データ(1)

ホールセール部門

(10億円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2011年3月期		2012年3月期			前四 半期比	前年 同期比
				3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
グローバル・マーケット	-157.3	658.4	518.8	141.0	137.0	130.1	72.6	118.7	63.4%	-15.8%
インベストメント・バンキング	-6.4	131.1	111.7	31.1	49.4	11.2	6.7	57.4	8.6x	84.5%
収益合計(金融費用控除後)	-163.6	789.5	630.5	172.2	186.3	141.2	79.3	176.2	2.2x	2.3%
金融費用以外の費用	553.7	614.3	623.8	161.4	156.9	156.1	152.4	138.3	-9.2%	-14.3%
税前利益/損失	-717.3	175.2	6.7	10.8	29.4	-14.9	-73.1	37.8	-	3.5x

グローバル・マーケット

(10億円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2011年3月期		2012年3月期			前四 半期比	前年 同期比
				3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
フィクスト・インカム	-217.2	308.0	259.8	71.7	69.4	67.6	45.7	71.2	55.8%	-0.7%
エクイティ	98.9	352.8	227.3	61.5	64.3	56.7	33.4	39.7	18.9%	-35.4%
その他	-38.9	-2.4	31.6	7.8	3.3	5.8	-6.5	7.7	-	-0.4%
収益合計(金融費用控除後)	-157.3	658.4	518.8	141.0	137.0	130.1	72.6	118.7	63.4%	-15.8%
金融費用以外の費用	417.4	486.4	499.3	127.8	125.5	124.3	121.2	110.3	-9.0%	-13.7%
税前利益/損失	-574.6	172.0	19.5	13.2	11.5	5.7	-48.6	8.4	-	-36.2%

インベストメント・バンキング

(10億円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2011年3月期		2012年3月期			前四 半期比	前年 同期比
				3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
インベストメント・バンキング(グロス)	87.6	196.1	185.0	61.9	54.4	32.3	23.8	45.1	89.8%	-27.1%
その他部門等へのアロケーション	24.1	77.2	82.6	25.6	25.1	13.4	12.3	21.7	76.4%	-15.5%
インベストメント・バンキング(ネット)	63.5	118.9	102.4	36.2	29.3	18.9	11.5	23.4	2.0x	-35.3%
その他	-69.9	12.2	9.4	-5.1	20.1	-7.7	-4.8	34.0	-	-
収益合計(金融費用控除後)	-6.4	131.1	111.7	31.1	49.4	11.2	6.7	57.4	8.6x	84.5%
金融費用以外の費用	136.3	127.9	124.5	33.5	31.5	31.8	31.2	28.0	-10.2%	-16.5%
税前利益/損失	-142.7	3.2	-12.8	-2.4	17.9	-20.6	-24.5	29.4	-	-

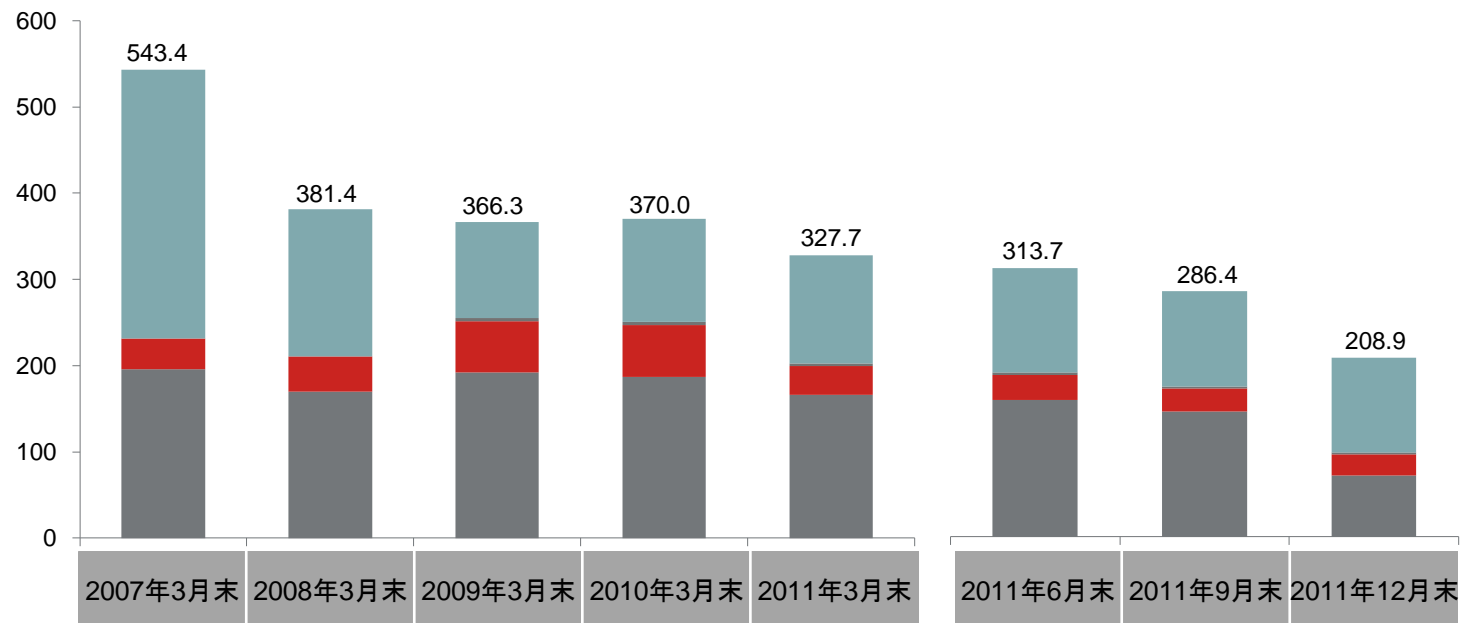
プライベート・エクイティ関連投資残高

通期

四半期

(10億円)

- テラ・ファーマ
- アジア
- 欧州 (除くテラ・ファーマ)
- 日本



日本	195.5	169.5	191.7	186.9	165.9	159.7	146.0	71.2
欧州 (除くテラ・ファーマ)	35.7	41.4	60.0	60.4	33.5	29.2	26.8	24.7
アジア	-	-	3.2	3.6	3.3	3.2	2.3	2.1
合計	231.2	210.9	254.9	250.9	202.7	192.0	175.1	98.0
テラ・ファーマ	312.2	170.5	111.4	119.2	125.0	121.7	111.3	110.9
総合計	543.4	381.4	366.3	370.0	327.7	313.7	286.4	208.9

	2007年3月末	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末	2011年3月末	2011年6月末	2011年9月末	2011年12月末
日本(FA除く) ¹	10,667	11,561	12,929	12,857	12,829	20,263	20,105	19,882
FA社員 ²	2,174	2,377	2,391	2,196	2,089	2,096	2,078	2,048
欧州	1,791	1,956	4,294	4,369	4,353	4,436	4,492	4,143
米州	1,322	1,063	1,079	1,781	2,348	2,383	2,537	2,466
アジア・オセアニア ³	900	1,070	4,933	5,171	5,252	6,452	6,485	6,394
合計	16,854	18,026	25,626	26,374	26,871	35,630	35,697	34,933

(1) プライベート・エクイティ投資先企業等の人員数は含まない

(2) 2008年3月末までの人員数にはSA社員の人員数を含む

(3) インド(ボワイ・オフィス)を含む

注:2007年9月より、一部の有期雇用社員を人員数に含める事としました。これに伴い、人員数を過去に遡り組替えております。

Nomura Holdings, Inc.

www.nomura.com/jp/